

第2章 戦略を支える都市空間

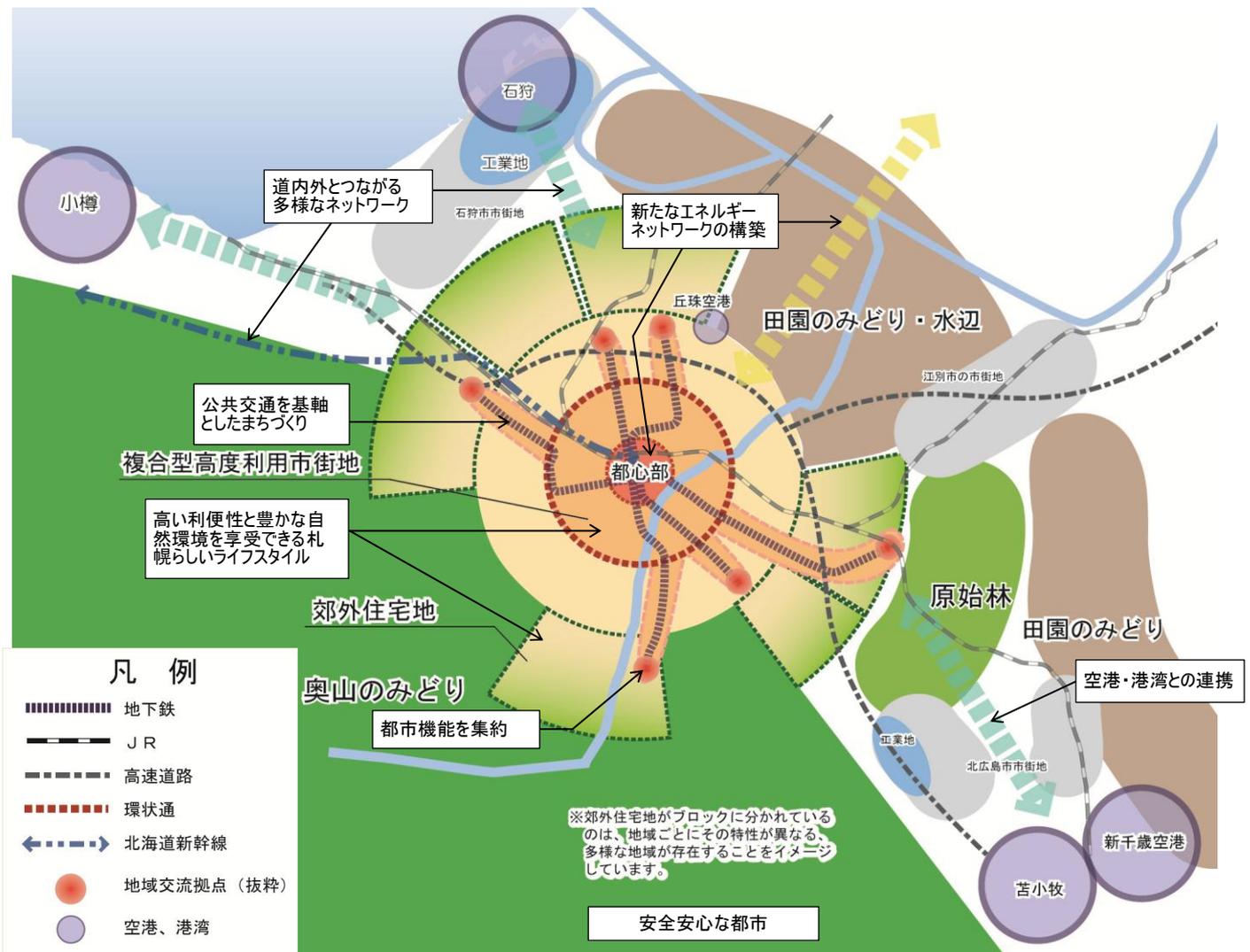
第1章に掲げる「創造戦略」の展開を支え、このビジョンで目指す都市像の実現に向けた都市整備の基本方針として、都市空間を創造するための基本的な考え方と、今後10年間に集中的に取り組む都市整備に関する施策を「都市空間創造戦略」として示します。

都市空間創造の基本目標

これからの都市空間を創造するための基本目標を、次の通り設定します。

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

- 地下鉄駅の周辺などに、多様な都市機能を集約することで、効率的に都市サービスを楽しむことができるコンパクトな都市
- 良好な環境を備える郊外での暮らしを選択するなど、住まいの多様性が確保された札幌らしいライフスタイルが実現できる都市
- 公共交通を基軸としたまちづくりを推進するとともに、新たなエネルギーネットワークの構築などによる環境都市
- 都市の活力を創出するため、道内外と多様な交通ネットワークでつながる、北海道の中心都市
- 都市基盤が効率的に維持・保全され、災害に強い安全・安心な都市



目指す都市空間のコンセプト

共創都市さっぽろ ～ S・L・I・M City Sapporo ～

※S・L・I・M(スリム)とは、Sustainability(持続可能性)、Livable(安心・快適で質の高い生活)、Innovation(創造性の発揮)、Managing(エネルギーやモビリティなど多様なマネジメント)の頭文字を指し、S・L・I・M City Sapporoとは、これらを包括した都市の概念

1 魅力ある市街地

(1) 複合型高度利用市街地

目指す都市空間	定義 おおむね環状通の内側と地下鉄の沿線、地域交流拠点に位置付けられているＪＲ駅の周辺 ・居住機能と生活を支える多様な機能が複合した比較的高密度で質の高い市街地を目指します。
都市空間創造戦略	●質の高い複合型の市街地形成を促進します。 ・再開発などにより、集合型の住宅や生活利便機能などの立地を促進します。 ・景観に関する制度の見直しや札幌らしい景観まちづくりを推進します。

(2) 郊外住宅地

目指す都市空間	定義 札幌市住区整備基本計画などに基づき、低層住宅地を主として計画的に整備してきた地域 ・良好な環境が維持され、誰もが安心して暮らすことができる住宅地を目指します。
都市空間創造戦略	●安心して暮らせる郊外住宅地を目指します。 ・生活利便機能の立地への対応や地域特性に応じた取組を推進します。 ・地域の足を確保する取組を推進します。

(3) 一般市街地

目指す都市空間	定義 複合型高度利用市街地と郊外住宅地以外の地域 ・居住者の利便や就労などを支える機能が立地する住宅地と、工業地・流通業務地などから構成される市街地を目指します。
都市空間創造戦略	●一般市街地の生活の維持・保全を図ります。 ・住宅地や産業団地など、地域特性に応じて土地利用計画制度を適切に運用します。

2 活力があふれ世界を引きつける都心

目指す都市空間	定義 ＪＲ札幌駅北口の一帯、大通東と豊平川が接する付近、中島公園、大通公園の西側付近を頂点とする、ほぼひし形に広がる区域 ・高次な都市機能が集積し、魅力ある空間が整うなど、市民生活の質の向上を支えるとともに、札幌を世界にアピールすることができる魅力的な都心を目指します。 ・地上や地下の回遊性が向上し、交通環境が改善された、人にやさしい都心を目指します。 ・先進的かつ積極的なエネルギー施策を展開する、環境首都・札幌を象徴する都心を目指します。
都市空間創造戦略	●札幌の顔にふさわしい重点的なまちづくりを推進します。 ・都心のにぎわい・憩いの空間の創出や再開発を進めます。 ・創成川以東地区のまちづくりを重点的に推進します。 ●都心の回遊性の向上や交通環境の改善を図ります。 ・路面電車のループ化や地下歩行空間の充実など、回遊性を高めます。 ・自転車利用環境を改善する総合的な取組を推進します。 ●先進的・積極的なエネルギー施策の展開を図ります。 ・エネルギーネットワークの強化・拡大などを促進します。

3 多様な交流を支える交流拠点

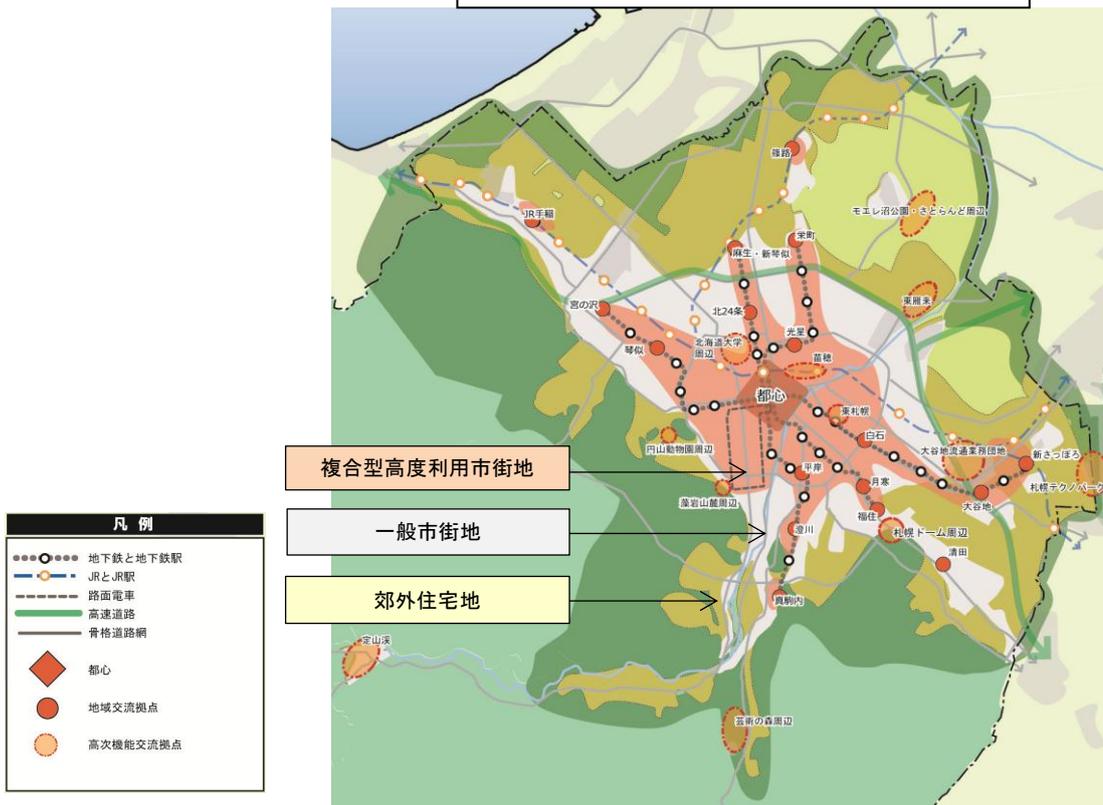
(1) 地域交流拠点

<p>目指す 都市空間</p>	<p>定義 交通結節点である主要な地下鉄・JR駅の周辺で、都市基盤の整備状況や機能集積の現況・動向などから、地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域のほか、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域</p> <p>・周辺地域の住民も利用する区役所などの公共機能や、商業・業務・医療などの都市機能の集約と、居住機能との複合した市街地を目指します。特に、地下鉄始発駅などの主要な駅では、重点的な取組が進められています。</p> <p>・駅周辺施設が空中歩廊や地下ネットワークにより駅に接続するなど、冬でも快適な歩行空間が整った市街地を目指します。</p> <p>地下鉄始発駅：新さっぽろ、宮の沢、麻生・新琴似、真駒内、栄町、福住 その他：大谷地、白石、琴似、北24条、平岸、澄川、光星、月寒、手稲、篠路、清田</p>
<p>都市空間 創造戦略</p>	<p>●地下鉄駅周辺などの機能向上を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発などによる都市機能の誘導や快適な歩行空間の創出などを促進します。 ・区役所などの拠点への配置を実施・検討します。

(2) 高次機能交流拠点

<p>目指す 都市空間</p>	<p>定義 産業や観光、文化芸術、スポーツなど、国際的・広域的な広がりをもって利用され、札幌の魅力と活力の向上を先導する高次な都市機能が集積する拠点</p> <p>・札幌が持つ高次な都市機能をさらに高める取組により、魅力と活力あふれる都市を目指します。</p> <p>円山動物園周辺、藻岩山麓周辺、北海道大学周辺、苗穂、東雁来、モエレ沼公園・サッポロさとらんど周辺、大谷地流通業務団地、東札幌、札幌テクノパーク、札幌ドーム周辺、定山溪、芸術の森周辺</p>
<p>都市空間 創造戦略</p>	<p>●都市機能を高める取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの拠点の性格を踏まえた都市機能の集積や高度化に向けた取組を推進します。

市街地区区分及び拠点の位置図



4 持続可能な都市を支えるネットワーク

(1) 交通ネットワーク

目指す
都市空間

・公共交通を中心とした交通ネットワークをさらに活用するとともに、骨格的な道路網の強化などにより、市民生活や経済・観光などを支える円滑な交通ネットワークの構築を目指します。

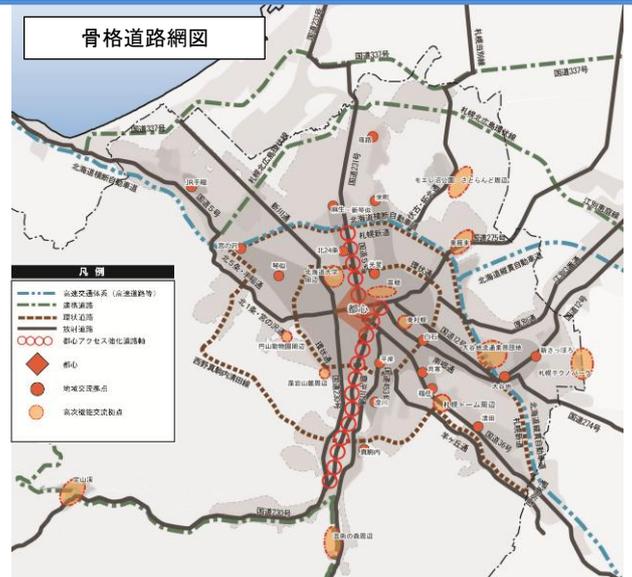
都市空間
創造戦略

●公共交通の利用促進を図ります。

- ・地下鉄・JR駅などの交通結節点の利便性を高める整備を推進します。
- ・路面電車に関する整備やバス等の利便性向上に向けた取組を推進します。

●骨格道路網などを強化します。

- ・広域連携の強化と市内交通の円滑化を進めます。



(2) みどり豊かな空間のネットワーク

目指す
都市空間

・骨格的なみどりの整備や市街地のみどりの充実・ネットワーク化を進め、札幌らしい、みどり豊かな都市を目指します。

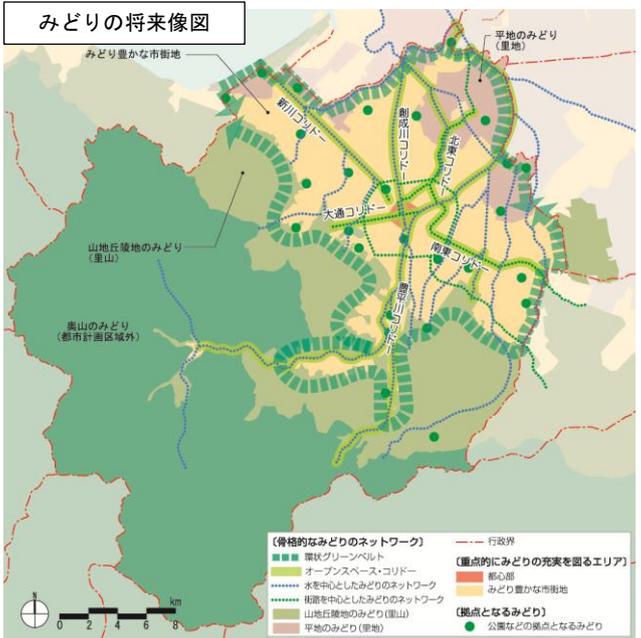
都市空間
創造戦略

●骨格的なみどりのネットワーク化を推進します。

- ・拠点となる公園・緑地の整備を進めます。
- ・都心では、オープンスペースの整備や民間施設の緑化を支援します。

●市街地のみどりの充実・ネットワーク化を推進します。

- ・地域特性に応じた公園の機能再編・再整備を進めます。
- ・既成市街地への公園整備を進めます。



(3) エネルギーネットワーク

目指す
都市空間

・自立分散型のエネルギー供給体制と、これをつなぐネットワークが形成された都市を目指します。

・市域外も含めた広域的な再生可能エネルギーを活用する、エネルギーの利用効率と安定性が高い都市を目指します。

都市空間
創造戦略

●都市開発等に合わせたエネルギーネットワークの構築などを促進します。

- ・再開発や清掃工場の建て替えなどと連動して、エネルギーネットワークの構築を促進します。

●創エネルギーを推進します。

- ・ごみ埋め立て地などの未利用地を活用した再生可能エネルギーの導入を支援します。

5 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

目指す
都市空間

・都市基盤の効率的かつ計画的な維持・保全や機能の見直し・複合化、耐震化などが計画的に行われている、安全・安心な市民生活が実現する都市を目指します。

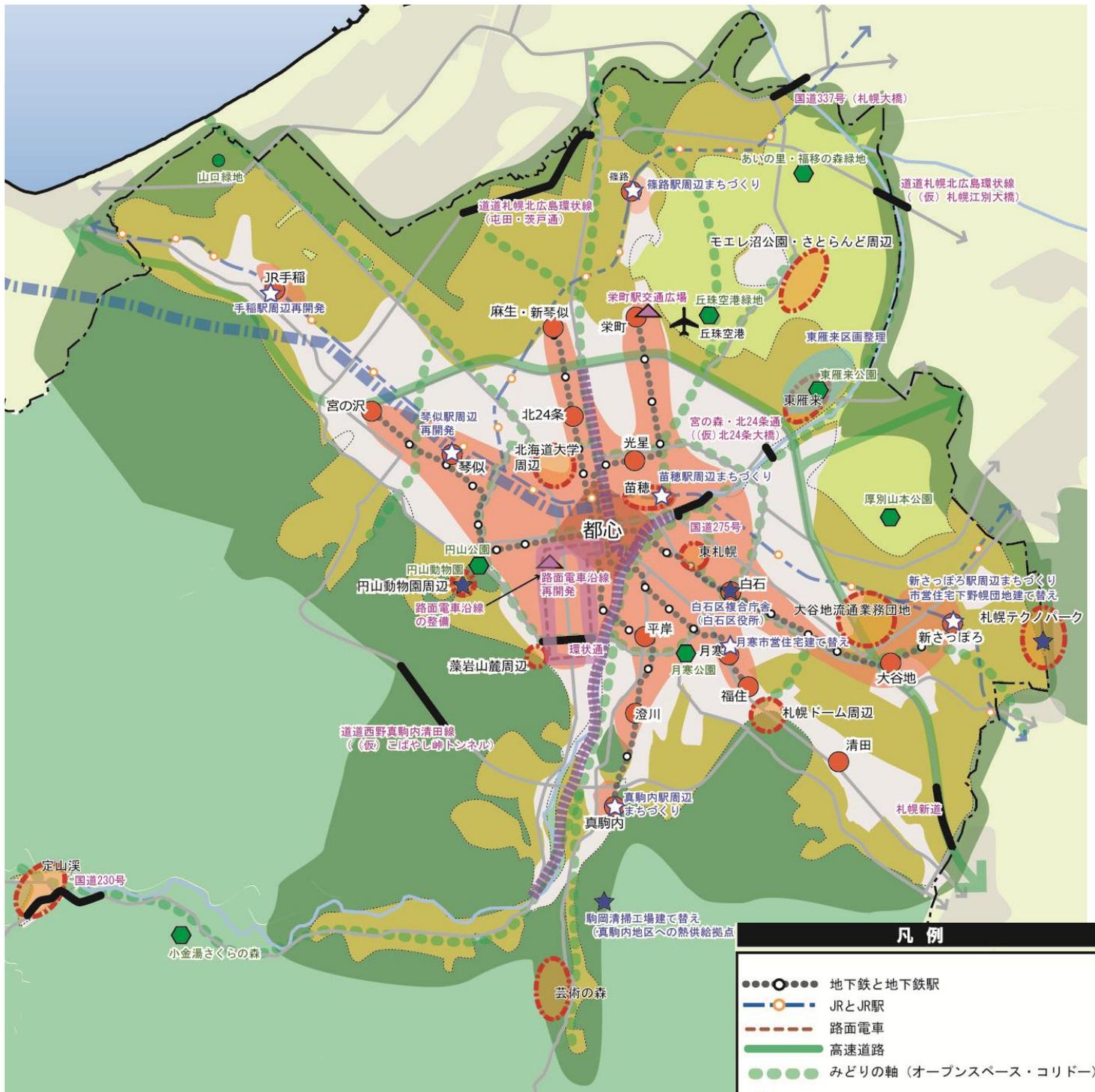
都市空間
創造戦略

●都市基盤の維持や活用を推進します。

- ・都市基盤の維持・保全を進めます。
- ・都市基盤の適切な再配置と活用を図ります。

●災害に強い都市を構築します。

- ・建築物の耐震化などを促進します。
- ・災害に強い都市基盤の整備を推進します。



凡例

- 地下鉄と地下鉄駅
- JRとJR駅
- - - 路面電車
- 高速道路
- みどりの軸 (オープンスペース・コリドー)
- ◆ 都心
- 地域交流拠点
- 高次機能交流拠点

— < 想定される主な取組 > —

- 北海道新幹線 (予定)
- 都心アクセス強化道路軸 (予定)
- ★ 拠点の強化
- ☆ 拠点の強化と共に市街地の再構築を進める
- △ 交通ネットワークの強化
- みどり空間ネットワークの創出

